



マッシー川口の
from New York from New York from New York

from New York

「ウォールストリートでお仕事する」の巻

ハロー！ 初夏の風って口いっぱい息を吸うと甘いような感じがしていい気持ちね～。貴方の街の風の味はどうかなあ？

ところで、同じマンハッタンに住む日本からの旧友S君は、最近ピアノバー、通称@「おねえちゃんバー」と言われるホステスさんのいるクラブに仕事の打ち合わせと称してよく出没しているらしいが「おひまならお店に来てね。あゆみ」のような来店のお誘いメールがホステスさんやママさんから届くという。どの業界でもITマインド(情報テク)が必要な時代だね～。プロに交じってアルバイトのホステスさんも多い昨今、インターネットユーザーが増え、お昼は自宅のパソコンでパチパチとEトレードにハマって、夜は華やかにご出勤といったやり手のマル金女性も結構いるようだ。

株といえば、このところ私も「ブルームバーグTV」(Bloomberg TV)というアメリカではお馴染みの金融関連ニュース専門局で、日本向けにニューヨークの株式市況をレポートする仕事をしている。たまたまテレビのプロデューサーから紹介され、「苦手だった金融を勉強する絶好のチャンス!」と積極的にトライしてみた。だから、現在月～金は毎朝8時半からマーケットが終了する時間までウォール街のニューヨーク証券取引所に通勤してるわけヨ。



e-mail: masshyk@hotmail.com

内容を紹介しますと「マーケットビート」という生放送の番組で2分40秒間、株式相場の生ニュースを証券取引所がガラス越しに見渡せる2階のスタジオから1日7回放送する。ニューヨーク時間の10時35分(日本時間の夜の11時35分)から、ほとんど1時間に一度は登場するわけなのだ。長年、地上波のテレビ局の仕事をしてきた私にとって最初は驚くことばかり。1日7回の放送もさることながらブルームバーグTVの場合、ニュースを読む日本人アンカーは現地に私しかいない。あとは、アメリカ人と外国人のみ。スタジオは、アメリカの記者と交代制。据え置きのカメラの横にアメリカ人のオペレーターが随時スタンパツいて、時間になるとレポート10秒前の合図をくれるだけ。あとは周りにディレクターもフロアディレクターも誰もいない! 証券取引所のビル12階にある小さなプレスルームにはアメリカ人の女性プロデューサーとフランス人記者、ドイツ人記者と私がいて、1人ずつブルームバーグ専用のダブルモニターの優秀な端末の前に座って株価や速報などのマーケットリサーチが自由にできるよ。記者達はそれを使ってリサーチし、スタジオからそれぞれ自国のテレビやラジオにレポートを送っている。

もし、株が暴落するような一大事が起こった場合にゲストインタビューを撮りたいとしたら、この端末からミッドタウンにある本社のスタジオやカメラクルーを即座に予約できる。ゲストとスタジオに行

カワグチ マサヨ

「NY在住のフリージャーナリスト。95年に渡米し、日本での取材番組のキャリアを生かして、テレビやラジオ、インターネットにNYからレポートを発信している。現在は、Bloomberg TVの株式リポートで活躍中。」

Jump masshy.com



きさえすれば収録の準備は万端で、収録したテープはすぐ日本へ送信されるのだ。このシステムは素晴らしい!

スタジオにいるアメリカ人の女性リポーターはテレビの放送のかたわら、隣のデスクに置いたラジオ用のマイクに向かって自分でPCモニターで音声調整し、テレビとラジオを交互に約30分に1本ずつ1日に13回以上オンエアしている。ほとんど、しゃべりっぱなしの状態なのだ。よーやるう! 私も今年のミレニアムの取材ではタイムズスクエアのカウンタダウンで1日8回ほど生放送をやったけど、まだ甘い方だった。だけど株っておもしろいね～!

それにしても金融のバックグラウンドのない私がレポートできるのも、原稿の内容チェックなど東京オフィスの力強いバックアップ体制があってこそ。ブルームバーグのメールは24時間プレスルームでもスタジオでも使えるし、内線も日本につながっているので本番の打ち合わせもスムーズ。だからなんとかなっているのかも。

それでもオンエア直前は殺人的な忙しさ。私は本番ギリギリまで情報をインプットした原稿を持って、内容を読み上げながらスタジオに向かって走り出す。もちろん12階のフロアから1階に向かうエレベーターの中でもぶつぶつ小声で練習。1階に着いたら株の売買されているあの殺気だったフロアにセキュリティカードを使って入り、ズイ!と人混みをかき分け横切り、階段を急ぎ足ではあはあと駆け上がって2階のスタジオに向かう。アメリカ人記者とのスタジオ交代時間はなんと1分半ぐらいしかないのので、その間に私はマイクを受け取りジャケットの胸元に付け、さらにブルームバーグ専用端末のモニターに自分の名

前とパスワードをログインして、円相場、ユーロ相場、アメリカ財務省が発行する10年物国債の利回り率、それとダウ工業株30種平均、ナスダック総合指数、S&P500指数など、刻々と変わる相場のグラフをモニターに映し出す。そして、カメラの方を向いて椅子の高さを調整し、オペレーターのカウントキューを待つのだ。今でこそ慣れたけど、最初は緊張のあまり指がふるえてミスタイプし、ログインエラーで秒数をロスしたり、本番直前に突然端末がダウンするハプニングが起きたりして、どうなることかと命が縮まる思いをしたこともあった。しかも、そんな時でも基本的に誰も頼れない。アメリカの仕事はなかなか厳しいものよとつくづく実感するわ。(^ ^);

でも、外人組のプレス仲間みんな親切で、わからないことはよく教えてくれるし、困った時はすぐ助けてくれる。ランチはビル内のカフェテリアでサラダやサンドイッチや日替わりのメニューを彼らと一緒に取ることが多い。ここにはおいしいコーヒーやケーキ、お菓子もあるので、放送で小さな失敗があったときでも励みになるというもの。ではでは、またね。貴方もガンパツてね。マッシー:)

Bloombergのサイトはココ!
ここで放送も見られるよ。
アメリカのメインサイトはココだよ。

Jump1 www.bloomberg.co.jp
Jump2 www.bloomberg.com

Illust: Kido Satoko





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp